

お母さんもいつしよ

すすすす伸びる水俣の「仲よし子供会」



正面には会長の中学三年生浜村章正君を議長として「子ども会の誓い」「仲よし子ども会の歌」の唱和が終り、指導員の今村一男さんから時の記念日の話や梅雨どきの衛生上の注意があつて、

終つて、この前、会で決められた夜遊びの時間を守ることについての反省があつたが、まだ、二三守らない子どももあるとみえて注意もちよつと厳しいよつである。

では、このへんでこの子供会がどうして始められるようになったか指導員の今村さんに伺つてみよう。

▲よくない遊びをやめさせるために

この子供会ができる前には、主として高学年の生徒たちが、畠の作物や果物等を荒したりして、大人たちを困らせ、その対策に頭を悩ましたものであるが、その時思いついたのが、子供会をつくることとで、これはPTAの部落地方会によつて早速実行に移すことが決り、三十一年の五月に「仲よし子供会」として発足したわけである。

▲お母さんと先生の熱心な協力が

子供会が永続するか否かは、地域の人々に特に母親達の協力が必要であるが、この子供会で、まず熱心に活動を始めたのが、その母親達で、子供会の集りのある

日に積極的に子供たちを送り出してやるのは勿論、子供達と一緒に話してお話しをきいたり、幻灯や紙芝居をみたり、或いはハイキングと一緒にかけたたりした。その結果、母親達は子どもたちの行動や考え方に深い理解を寄せるようになり、時には母親たちだけで学校の部落担任の先生と子供のしつけ等についての話し合もするようになった。そのお蔭で「子供会ができてから、子どもだけでなく、私達大人も非常に勉強になり生活も明るくなりましたよ」と或る母親は話してくれた。

▲よいリーダーを得て

子供会を育てる柱として、地域の人の協力とともに、最も大切なことはよい指導者を得るということである。指導者は子供会のよき助言者として子供会の自主性を尊重して指導していくことが必要であり、その点この子供会には、発足当時から芦北食糧事業協同組合にお勤めの今村一男さんが勤務のかたわら熱意をもつて指導に當つておられることが今日までこの会が、停滞することなく続いてきた最も大きな原動力となつてゐる。今村さんはこう言つておられる。

「この子供会の行事の企画や運営の方針等は子供会の会長、班長それから父兄

で組織された委員によつて決定しております」と。

ちなみに、この「子供会の誓い」も「仲よし子供会の歌」の歌詞もそれから会の名前も子どもたちによつて作られ、そして子どもたちの投票によつて決められたさうである。

▲子供たちはどのように変わったか

ある母親は「子供会ができてからは、お行儀がよくなり、又朝夕の挨拶もよくするようになった」と喜んでおられた。又この子供会の行事の特色としては、朝のラジオ体操を一年中通して続けていることとで、そのために早起きはあたり前のこととなり、誓いの一つに夜の外出をやることを申し合せているために早寝の奨励ともなり、体も丈夫になり、朝夕の登校、下校はこころ、三年来ずっと集団登校を実行して、交通禍も皆無の好成績ださうだ。

又、この部落は海岸であるために、夏はすぐ近くに海水浴場が開設されるそうだが、子どもたちは自発的に期間中毎日、砂浜の掃除を行つてこを訪れる人たちに大変評判がよいさうである。これらのことは、子供会の目的の一つである社会生活の中に融け込んで共同の力を養うことや、勤労の尊さを学ばせる上からも一

応の成功を収めているといえよう。

▲会場や会費はこうしている

会場は会員の家を順番にあてることになつており、何日が自分の家だと母親達待ちわびるような状態だ、場所の問題は見事に解決されている。

理想としては公民館か児童館のような室内レクリエーションも充分やれるような公共施設が欲しいところだが、現在ではまず恵まれているといえよう。

経費は、会員の家一戸当り月十円の会費と、簡易保険の団体加入による手数料、学校(PTA)からの部落費が主であるが、ハイキングや運動会等の行事の費用もこれによつて賄われている点、非常にうまく運営されている。

▲全市をあげて熱心に

水俣市には、このような子供会が、全部で二百近くもあるときいて驚いたが、それには、水俣市青少年問題協議会(互志会)が特にその育成に熱心で、その会

の構成機関である市福祉事務所、市教育委員会、警察署、保護司会、社教等がうまく連絡をとり指導には市教委の永松課長が積極的に當つておられる。

ついでに、子ども会指導者講習会が百名以上も集つて盛大に行われた。この結果について、深野市福祉事務所長や水俣警察署の安居係長は

「この子供会が全般的に盛んになつた三十一年頃からは少年の非行件数がぐつと減り、それに大人の犯罪も減つてきた。今後はこの子ども会を中心に青年団や婦人会等も含めてうまく運営してゆくように指導し、明るい水俣市を築き上げるよう努力したい」と抱負を語つておられる。

▲子供会をつくらう

子供は環境の所産であるともいわれるように、青少年の育成は小さい時から正しい環境の下で育てることが必要。

▲調査によると、農村では、健康者は一

〇〇人の中に六六、五人で、残りの三三、五人は、多少なりとも栄養失調症候があるといふことになつてゐる。そこで正しい栄養食をとるためには、毎日三度の食事に色々の栄養素が、かたよらないよう、平均を保つようにつとめたもの。

蛋白質食品には、大豆、牛乳、卵、魚介、肉類等があるが、中でも大豆は畑の肉といわれる程、栄養が含まれている。魚や肉の無い時には必ず何かの形で大豆を食べるようにしよう。

農繁期には

モット栄養を

農繁期には、味噌汁の実を切る手間さえも惜しくなり、あるものだけで食事をすませることにちがひがある。それについて、白米の食べ過ぎと

白米の食べ過ぎは、胃腸が弱り、食欲が減り、疲労しやすく手足がしびれ、脚気などになる怖れがある。又早く老衰することにもなる。

県衛生部で調査した国民栄養

そこで水俣市のように子ども会が数多くつくられて

活潑な活動を行い、青少年の保護育成に地域を挙げて努力してゆくことは非常に有意義なことといえよう。

▲子ども会についての御

相談は、町村の教育委員会、公民館、役場の厚生係、福祉事務所、警察、児童委員等にお申出下さい。

▲指導についてのパンフ

レット御入用の方は、県青少年問題協議会(県庁婦人児童課内)に御申出下されば無料で差しあげます。



又、乳牛を飼つておられる農家では、味噌汁、雑炊、スープ、ライスカレー、シチュー等に牛乳を使えば、手間がはぶけて、おいしく頂ける。

油は、蛋白質や、炭水化物の二倍以上の熱量を出す。大きじ一杯半の油は茶碗に一杯の飯と同じカロリーをもつている。それで、二杯の御飯を、大きじ一杯の油で炒めて食べると、三杯の御飯を食べたのと同じになる。

蒸しパンや、パンにバターやマーガリンをつけて食べる場合も同じ。油は、ほうれん草、ピーマン、人参、

南瓜等の緑や黄色の野菜の栄養価を高めるから、普通の煮物に利用するよりも、炒めたり、揚げものにする方が、栄養、手かず、経済の点からいつても非常に良い。

又、ビタミンを沢山含んでいる野菜類や、馬鈴薯など、今年収穫が多いので沢山食べよう。

馬鈴薯も中位のを八つと米一合のカロリーとつり合うから、油と一緒にとれば量も少なくてよく、蛋白質を補えば大変結構な食品。主食のかわりに、お八つに沢山食べるようにしたい。